

<b>アセタミプリドくん煙剤 モスピランジェット</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日本曹達  <b>原体メーカー：</b> 日本曹達
<b>成分：</b> アセタミプリド〔ネオニコチノイド系〕……………15.0%	<b>性状：</b> 類白色発煙性中空円板状 外径65mm、内径20mm、高さ16mm、1個50g  <b>毒性：</b> 劇物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

●くん煙剤なので、ハウス内の湿度を高めず、作物への汚れが少なく、果菜類には収穫前日まで使用できる。

●有機リン剤・カーバメート剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫に有効である。

●幅広い殺虫スペクトルを有する。

●高い活性があり、少ない薬量で長い残効性がある。

●速効性と強い浸透移行性を併せもつ薬剤である。

●ミツバチ・マルハナバチに影響が少ない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

●温室・ガラス室・ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数カ所に分けて配置し、煙が満遍なく行き渡るようにする。

●くん煙する場合は、添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。吊具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さで吊り下げると又は不燃性の台などの上のせて使用する。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。

●点火は以下のとおりに行う。

○点火紙を用いる場合、同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさける。

発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。

点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置する。

○電気式点火・くん煙装置を使用する場合装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。

点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置する。

発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置する。

○点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しない。

●定植直後又は幼苗・軟弱徒長苗等には薬害を生じるおそれがあるので使用はさける。

●高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放する。

### 【安全対策上の注意】……………

●ミツバチを放飼する場合、翌朝開放後、巣箱をハウス内に入れる。

●甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽等を置かない。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
いちご	温室、 ビニール ハウス等の 密閉できる 場所	アブラムシ類 アザミウマ類	くん煙室 容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ) (×高さ2m) 当り50 g	前日まで	2回以内	くん煙	3回以内 (粒剤の株元散布 及び土壌混和は 合計1回以内、 散布及びくん煙 は合計2回以内)	
きゅうり		コナジラミ類			3回以内		5回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 2%粒剤の定植後の 株元散布は1回以 内、散布、くん煙及び 1%粒剤の株元散布 は合計3回以内)	
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ					4回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布、くん煙及び 定植後の株元散布 は合計3回以内)	
なす すいか		アブラムシ類 アザミウマ類			3回以内		2回以内	3回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布、くん煙及び 定植後の株元散布 は合計3回以内)
メロン		コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ			4回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布、くん煙及び 定植後の株元散布 は合計3回以内)			
トマト ミニトマト		アブラムシ類			3回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布、くん煙及び 定植後の株元散布 は合計2回以内)			
ピーマン		アブラムシ類			2回以内		3回以内 (粒剤の定植時までの 処理は1回以内、 散布、くん煙及び 定植後の株元散布 は合計2回以内)	
アスパラガス		アザミウマ類					2回以内	
みかん		アブラムシ類 カイガラムシ類					3日前 まで	3回以内
ぶどう		コナカイガラムシ類 ホソオビツチイロノメイガ			14日前 まで			
マンゴー	カイガラムシ類	35日前 まで						
アセロラ		アブラムシ類		7日前 まで	2回以内		2回以内	

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アセタミプリドを含む 農薬の総使用回数
花 き 類・ 観 葉 植 物 (トルコギキョウ を除く)	温室、 ビニール ハウス等の 密閉できる 場所	アブラムシ類	くん煙室 容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ) (×高さ2m) 当り50 g	発生初期	5回以内	くん煙	5回以内
トルコギキョウ		ミカンキイロアザミウマ		前日まで	2回以内		2回以内
ズッキーニ ズッキーニ(花)		アブラムシ類					14日前 まで
ふ き				前日まで	くん煙、 但し、花穂 の発生期に は花穂をマ ルチフィル ム被覆した 状態で使用 する	3回以内	
みょうが (花穂)							みょうが (花穂) の 収穫前日ま で、但し、 花穂を収穫 しない場合 にあつては 開花期終了 まで
みょうが (茎葉)							